

2026年6月期
中間(第2四半期)
決算説明資料

フィーチャ株式会社 (東証グロース4052)

2026年2月13日

Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。



01. エグゼクティブ・サマリー
02. 会社概要と成長戦略
03. 中間(第2四半期)業績概況

Appendix



Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

01. エグゼクティブ・サマリー

02. 会社概要と成長戦略

03. 中間(第2四半期)業績概況

Appendix



Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

売上高

205百万円

前年同期比 16.9%減

営業利益

▲25百万円

前年同期は ▲7百万円

主要ハイライト

- ▶ 大手自動車メーカーとの共同開発案件の中断により、受託開発収入が大きく減収
↳ 再開に向けた協議を続けてきたが、顧客都合により一時中断
- ▶ 新車向け車載カメラライセンスの量産が好調だったことにより、ライセンス収入は増収
↳ 当社ライセンス製品の累計販売台数は330万台を突破
- ▶ 3Q以降、大手自動車部品メーカー(Tier1)との共同開発案件にて、追加プロジェクトの受注拡大予定
↳ 複数プロジェクトの受注を予定
- ▶ 経営効率の観点から、研究開発拠点を本社に集約し、中国北京子会社の清算手続きを開始
↳ 2025年10月解散決議、必要な手続きが完了次第清算

- 01. エグゼクティブ・サマリー
- 02. 会社概要と成長戦略
- 03. 中間(第2四半期)業績概況

Appendix



Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

Mobility Solutions

車載カメラ・ドラレコ向け 画像認識ソフトウェア

低計算コストかつ優れた精度、柔軟なカスタマイズ性により、多数の自動車メーカー・ドラレコメーカーに採用されるAIソリューション。

ADAS 先進運転支援システム



- 前方車・歩行者衝突、交通違反などの危険運転をリアルタイムで判定し、事故防止を支援
- ローエンドSoCで極力低演算コストでADAS機能の量産実装

DMS/OMS ドライバー／乗員監視システム



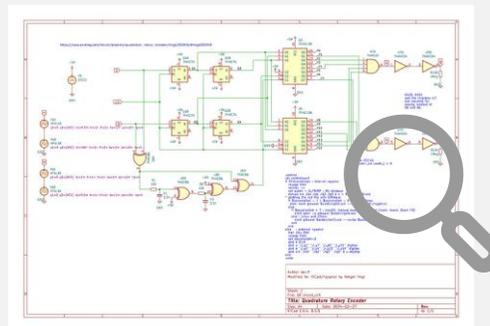
- ドライバーの運転状態を監視し、危険運転・事故防止を支援
- 車室内の人の年齢・性別、感情、行動を認識・分析し、安全性だけでなく、健康、快適性、エンターテインメント性を向上させる機能の実現にも取り組む

DX-AI Solutions

文書・図面解析 AIプラットフォーム

自社開発の画像認識モデルとLLM(大規模言語モデル)により、あらゆる文書・図面を瞬時に理解し、業務効率を飛躍的に向上。

Drawing-AI 図面解析システム



- 電子回路図・建築図面・金型図面など各図面の検図自動化、デジタル資産化が可能
- 人手不足の作業をAIが支援

AI-OCR 文書解析システム



- 手書き・活字などあらゆる非定型文書をAI自動認識
- 目視確認時間、手動でのデータ入力作業を大幅に削減

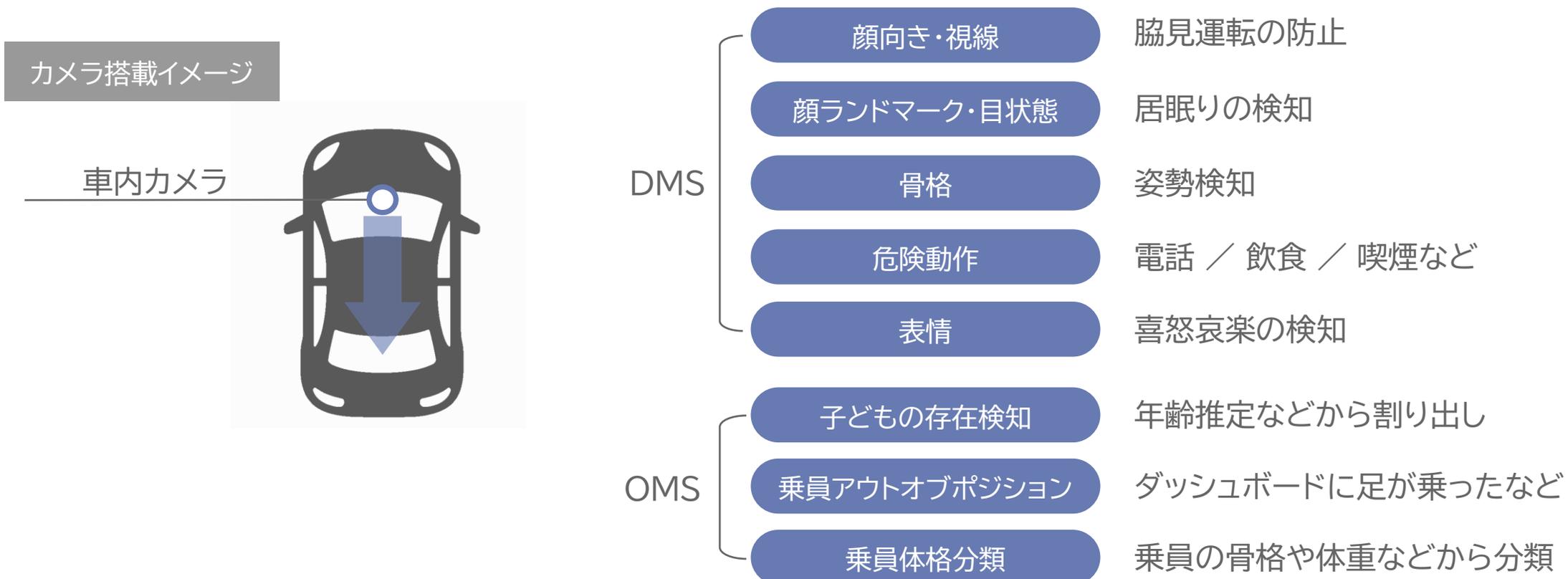
Advanced Driver Assistance System

車両の前後左右・死角の歩行者／車両を高精度に検知し、追突・巻き込み・信号無視などのリスクをリアルタイムに評価。独自の軽量AIモデルにより、ドラレコ等の低スペックECUでも動作し、新車から既存車まで柔軟に導入可能。



DriverMonitoringSystem / OccupantMonitoringSystem

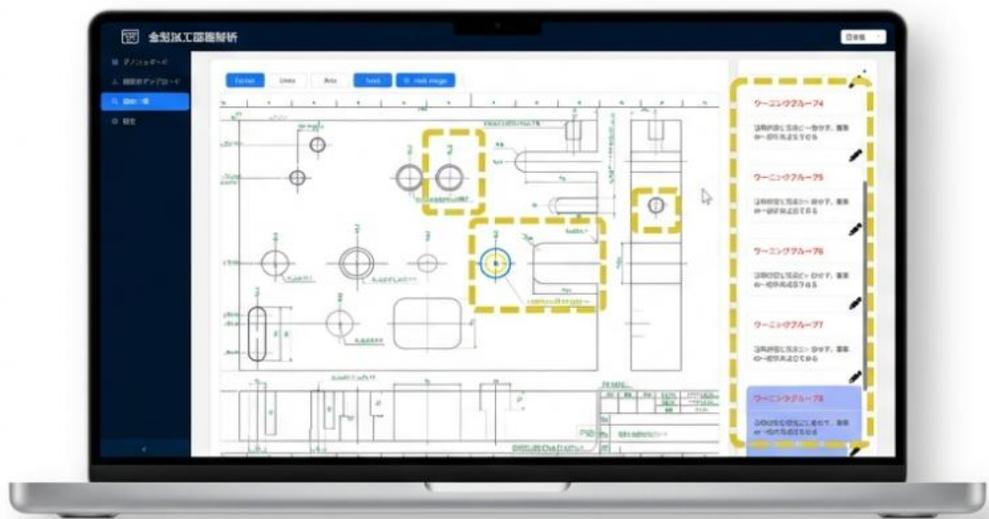
ドライバー状態監視に加え、子どもの置き去り検知や体格分類によるエアバッグ制御など、OMS機能まで提供可能。ジェスチャーなどHMIへの展開にも対応し、安全性と車室内UXの同時向上に寄与。



DX-AI Solutions

独自の画像認識AI技術とLLM/VLMなどの最新技術を活用し、製造業の図面解析やバックオフィスの非定型業務を自動化。

単なるデジタル化に留まらず、業務プロセス自体を変革し、労働生産性の向上とROIの最大化を支援。



Drawing-AI

検図支援 / 図面比較 / 類似図面検索

AI-OCR

非定型帳票読取 / 手書き・FAX自動化

AIコンサルティング

AI導入トータルサポート

AIインテグレーション

アプリ開発までワンストップ支援

モビリティ業界で培った「高い信頼性」と「実装技術」が最大の武器

技術と実績



①軽量・高性能な画像認識技術

- 世界規模のベンチマークテスト*で1位を取得
- ローエンドSoCでも搭載可能な実装性



②量産に向けた開発ノウハウと実績

- 多数のADAS量産製品開発プロジェクトでの技術開発実績とノウハウ
- 高品質を求められる大手メーカーからの信頼

組織と対応力



③顧客ニーズに応じた迅速な対応力

- 長年の経験に基づく最適な技術提案
- 課題に合わせた柔軟なカスタマイゼーション



④優秀な多国籍エンジニア

- 多国籍かつ多様性に富んだチーム
- 世界中から集結したトップレベルのエンジニア

モビリティ品質 × 各業界のドメイン知識 = 業界特化型AIの展開
汎用AIでは実現できない「高付加価値」の創出

創業期(自動車業界特化)



- 車載カメラ・ドライブレコーダー向け画像認識AI
- ADAS(先進運転支援システム)技術の開発
- 車載向け実装最適化・組込開発

現在(一部他業種に展開)



- Mobility Solutionsにおけるパートナーシップの推進
- モビリティ中心からインフラ系などへ展開
- AI-OCRソリューション及びDrawing-AIの提供

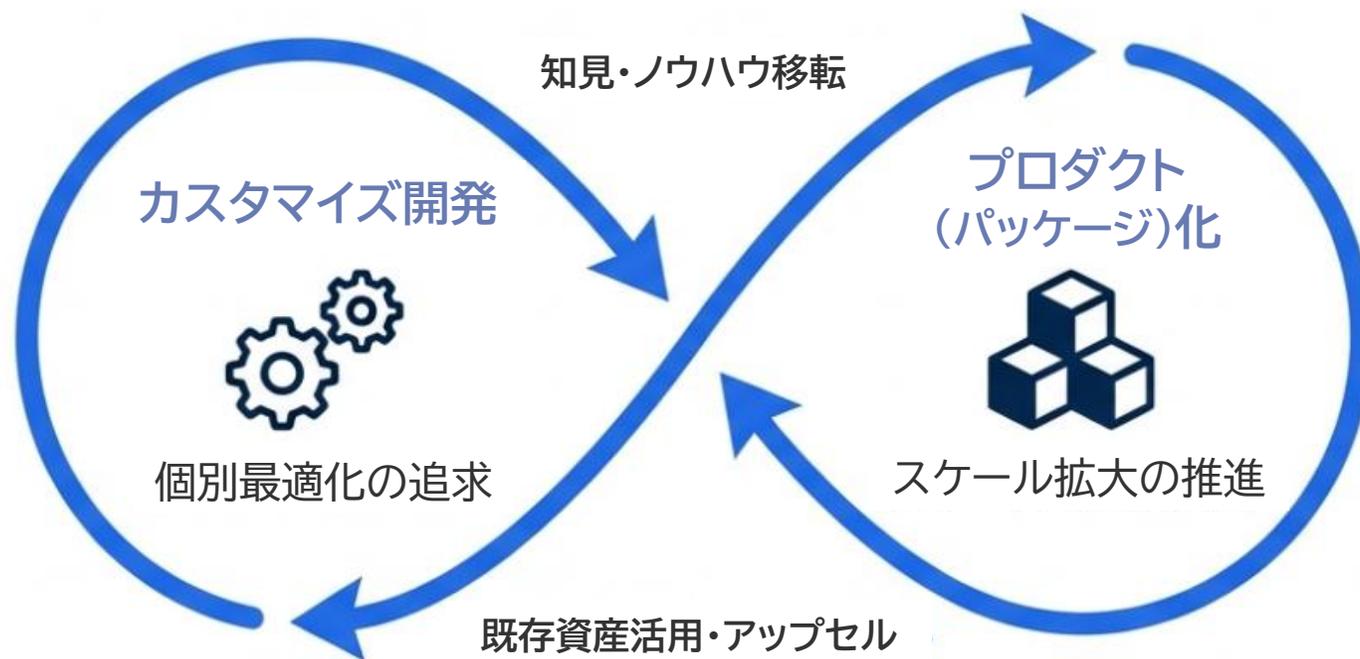
今後(各業界に展開)



- Mobility Solutionsにおけるパートナーシップのさらなる拡大
- 様々な現場課題の改善のための業界特化型DX-AI Solutionsの開発
- カスタマイズ開発×プロダクト化の両輪展開

将来的にMobility Solutions : DX-AI Solutions = 5 : 5を目指す

カスタマイズ開発からプロダクト(パッケージ)化へと知見移転を加速させ、
業界特化型ソリューションのラインナップを拡充



カスタマイズ開発の強み

- 業界先進企業の深い課題に対応
- 高付加価値の実現
- 新たな業界知見の獲得

プロダクト化の強み

- 導入スピード・コスト効率の向上
- 多様な業種・規模への対応
- ストック収益モデルの構築

- 01. エグゼクティブ・サマリー
- 02. 会社概要と成長戦略
- 03. 中間(第2四半期)業績概況

Appendix



Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

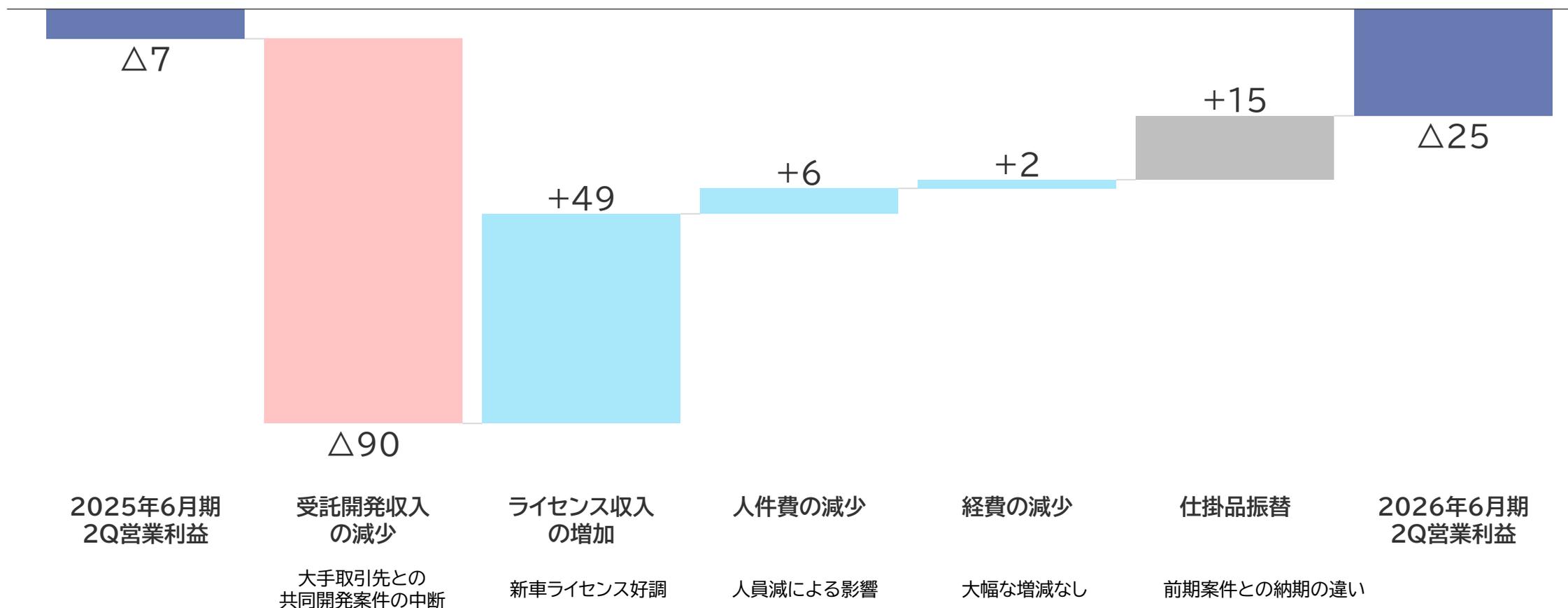
ライセンス収入は、当社製品が搭載された新車の量産が好調で増加したものの、受託開発収入での大手自動車メーカーとの共同開発案件の中断による減少をカバーできず、減収減益

(単位:百万円)

	2025年6月期	2026年6月期			
	2Q実績	2Q実績	前期比	通期予想	進捗率
売上高	247	205	△16.9%	540	38.0%
うち、受託開発収入	170	80	△52.9%	395	20.3%
うち、ライセンス収入	76	125	+63.4%	145	86.1%
売上原価、販管費	254	230	△9.3%	523	44.1%
うち、人件費	155	148	△4.2%	323	46.0%
うち、経費	97	95	△2.3%	200	47.6%
うち、仕掛品振替	1	△13	—	—	—
営業利益	△7	△25	—	17	—
経常利益	△7	△27	—	17	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	△8	△27	—	14	—

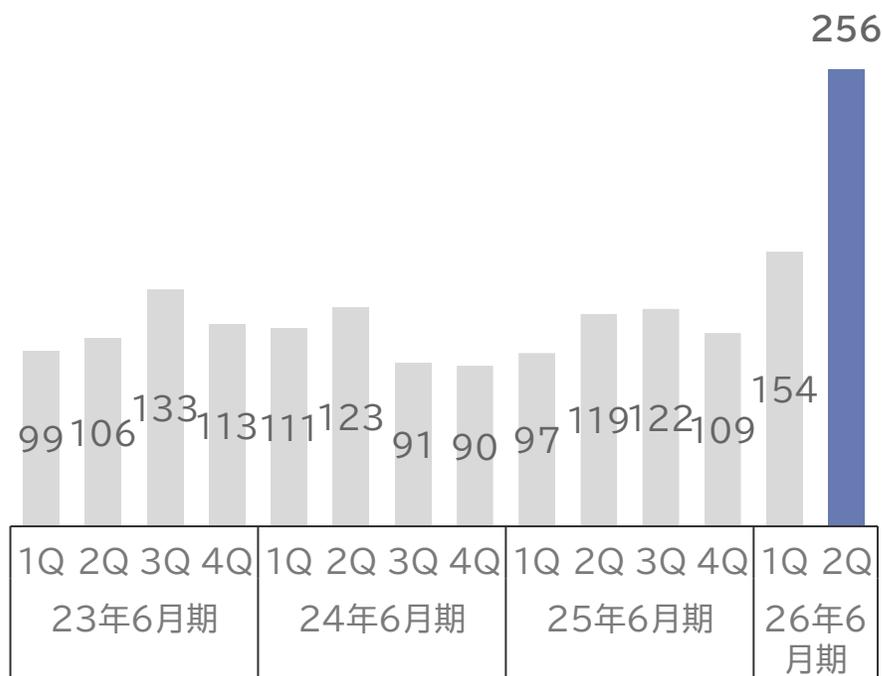
共同開発案件の中断に伴う受託開発収入の減少により、赤字幅が拡大

(単位:百万円)

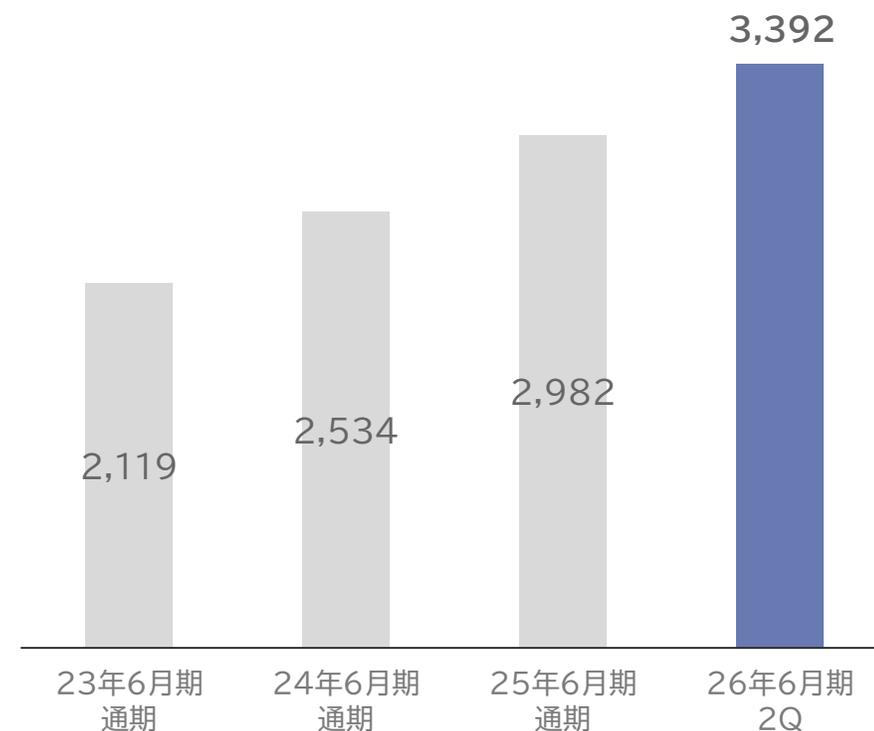


当社ライセンス製品が搭載された新車の量産が好調

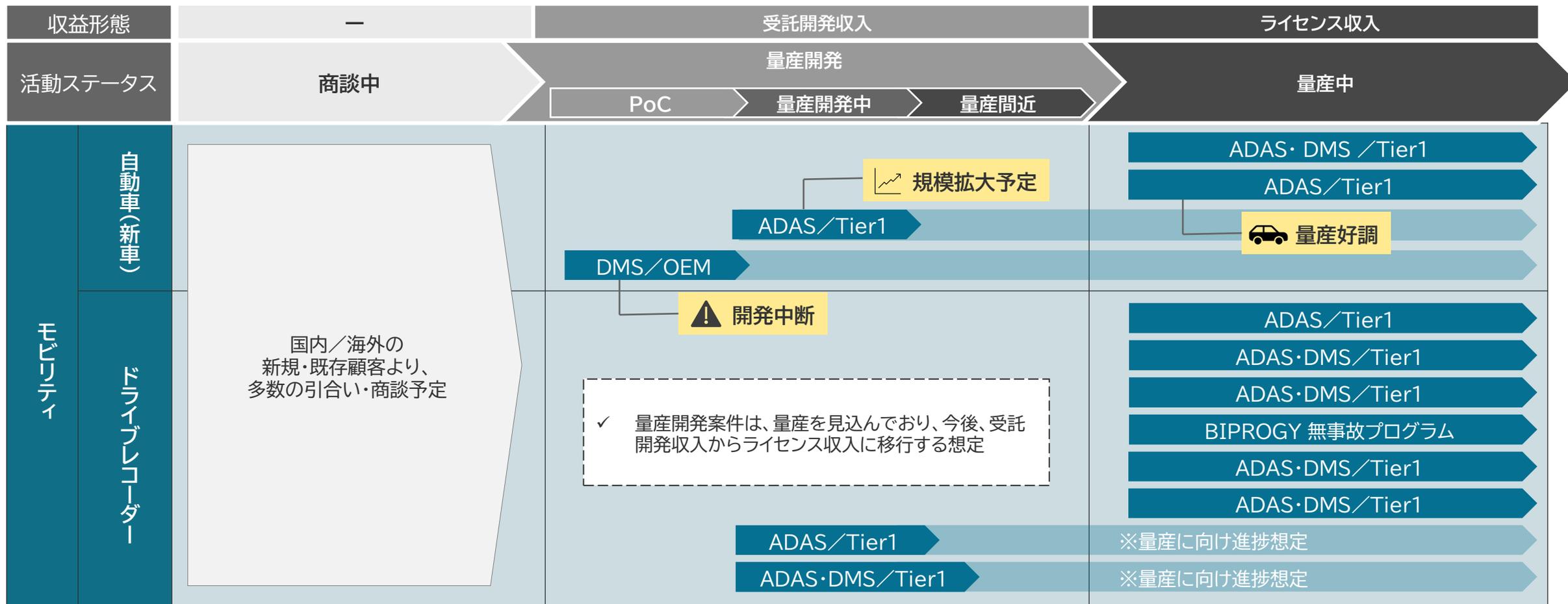
四半期別量産台数(千台)



累計量産台数(千台)



量産に向けた案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現



人手依存・属人化していた確認作業の自動化により、時間・コストの大幅削減



大手住宅設備メーカー

**建築平面図から
住宅設備を自動抽出**

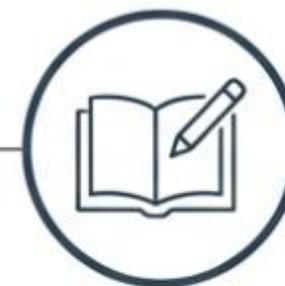
浴室・キッチンなどの住宅設備をAIが自動認識し、サイズや配置情報をデータ化するソリューション



大手自動車部品メーカー

**電気回路図の
自動検図**

電気回路図をAIが解析し、法規・社内基準などの遵守事項が満たされているかを自動で検証するソリューション

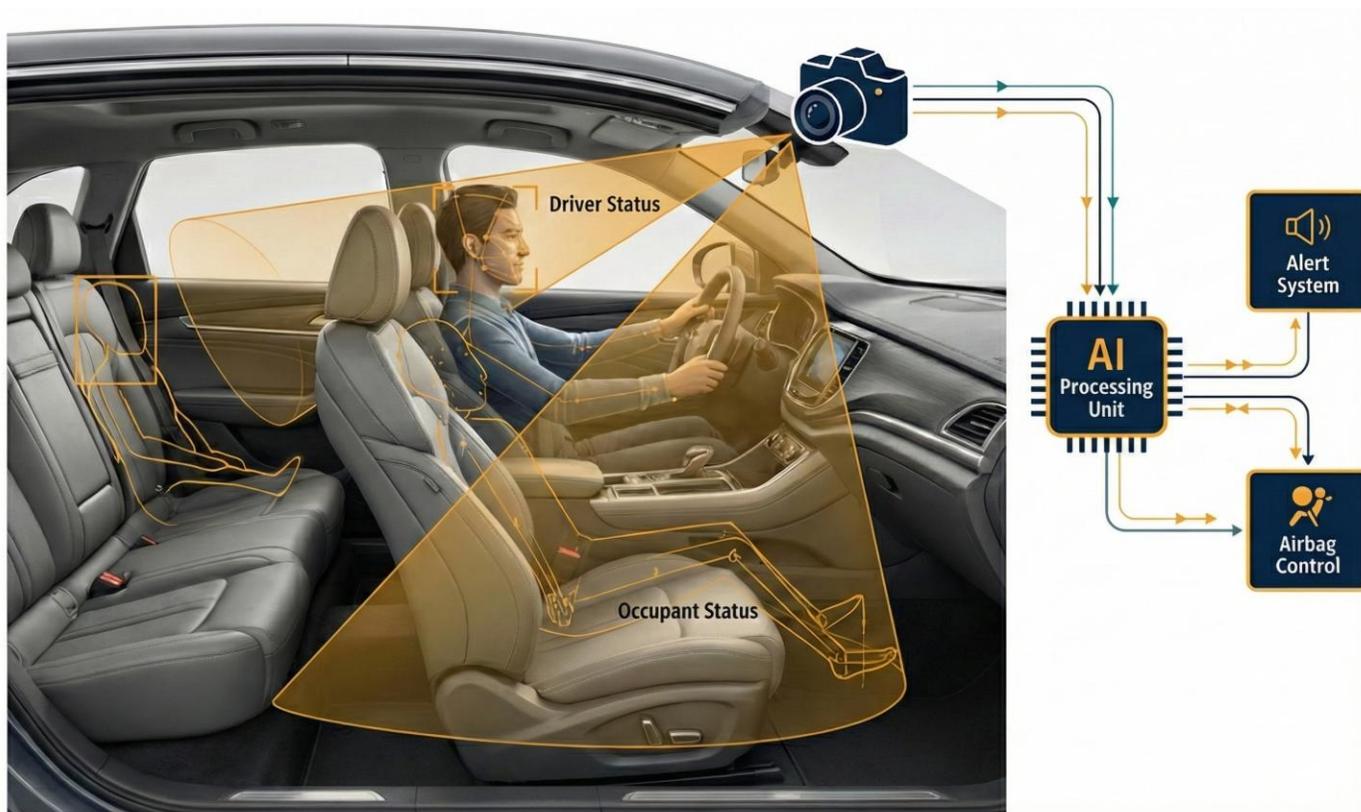


大手教育関連会社

**手書き答案の
採点効率化**

学生の手書き答案用紙につき、AI-OCRでデータ化し、採点作業を効率化するソリューション

DMS/OMSを中心に当社最新技術を展示



リアルタイムデモを実施し、複数商談進行中

DMS

脇見や携帯電話使用など、運転中の注意散漫状態を即座に検出

OMS

車室内の乗員(大人/子供、体格、姿勢)を自動で認識・分類し、乗員保護システムの最適化をサポート

為替動向の変動及び市場環境の変化から、事業の合理性を総合的に勘案し、研究開発拠点を本社に集約

解散対象子会社	北京飞澈科技有限公司
清算終了の日程	現地の法律に従い、必要な手続きが完了次第となる予定

- 当社の研究開発の主力は、創業以来一貫して日本国内
- 2018年に設立した北京拠点はあくまで補完的役割
- 近時の為替動向や市場環境の変化から、費用対効果が当初想定を下回る
- 今回の清算による開発へのネガティブな影響はなし
- リソースを日本へ集約し、意思決定のスピードアップを図る
- 親会社株主に帰属する当期純利益への影響額については精査中

- 01. エグゼクティブ・サマリー
- 02. 会社概要と成長戦略
- 03. 中間(第2四半期)業績概況

Appendix



Make Things
Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位:百万円)

	2025年6月期				2026年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	120	126	157	93	95	109		
うち、受託開発収入	83	87	115	53	46	33		
うち、ライセンス収入	36	39	41	39	49	75		
※売上原価	46	45	51	36	35	16		
売上総利益 (粗利率)	73 61.4%	80 63.8%	106 67.5%	56 60.6%	60 63.4%	92 84.8%		
※販管費	81	80	73	91	90	88		
うち、研究開発費	30	29	24	40	33	35		
営業利益 (営業利益率)	△7 -	0 0.1%	32 21.0%	△35 -	△29 -	4 3.8%		

※原価+販管費合計	127	126	124	128	125	105		
うち、人件費	80	74	74	75	75	72		
うち、経費	46	51	48	48	49	46		
うち、仕掛品振替	0	1	0	3	0	△13		

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。